

NO 142  
令和5年6月15日

# 北海道碎石だより

一般社団法人日本碎石協会北海道地方本部

札幌市中央区南1条西10丁目大通ホワイトビル ☎011-241-4579

## (一社)日本碎石協会北海道地方本部長表彰

令和5年5月24日  
通常総会にて

おめでとうございます

### 《業界功労者》

天方 實 様

(釧根支部) 東工業(株)

### 《長期勤続従業員表彰者》

鈴木 直栄 様 (北海道地方本部)

小南 恵子 様 (稚内支部)

中村加奈子 様 (網走支部)



### 令和5年度通常総会開催

令和5年5月24日(水)札幌東急REIホテル

一般社団法人日本碎石協会

北海道地方本部通常総会

午後4時、北海道経済産業局・山崎資源  
燃料課長、北海道労働局・納主任産業安全  
専門官、北海道経済部環境・エネルギー課・  
梨木主査をはじめとする監督官庁や関連団  
体から多くのご来賓を迎え、会員、賛助会  
員総勢105名のもと盛会に開催しました。

(会員数101社・出席会員38・委任状56)



岡本本部長は総会開催にあたり、「本年  
はやっと、新型コロナウイルスの感染が収  
まりつつある中での総会となりました。そし  
て会員相互の情報交換の大切な機会でもあ

る懇親会も開催できることをうれしく思います。

さて、北海道の砕石業を巡る情勢は、地域によって状況は異なるものの全体としては厳しさが続いています。しかし、活力ある産業と豊かな生活を支える基盤整備に不可欠な基礎資材を安定して供給するという使命に変わりはなく、私たちとしては、労働安全、人材確保、生産技術、価格適正化など、様々な課題に一層取り組んでいかなければなりません。

特に本年は、軽油引取税の課税免除措置の課題がありますので、業界が団結して取り組まなければなりません。その他にも課題は労災保険などまだまだ多くあります。引き続き、日本砕石協会本部及び関連団体との連携を深めながら、北海道地方本部としても会員一丸となつて取り組んで行きたいと考えます。

本日の総会では、向う一年間の

事業計画等を提案させて頂きます。熱心な審議をお願いし、総会開催にあつての挨拶といたします。」と結ばれ、このあと議長に平沼副本部長が指名され、議案審議の結果、原案通りすべて承認されました。

※役員改選は次のとおり

(一社) 日本砕石協会北海道地方本部  
【任期満了役員改選】新役員

本部長	岡本繁美	札幌
副本部長	宮本義久	小樽
〃	平沼昌平	函館
〃	天方 實	釧根
会計理事	青木 伸	札幌
〃	河合道明	小樽
理事	藤野徹弥	札幌
〃	五十嵐幸次	旭川
〃	鶴岡久也	旭川
〃	美田和夫	稚内
〃	佐藤和浩	函館
〃	高橋秀昭	網走
〃	河野俊一	釧根
専務理事	牧野利信	

【ご来賓祝辞】

北海道経済産業局  
資源エネルギー環境部  
資源・燃料課長  
山崎 量平 様



「本日の総会が多数の参加者が集まり、盛大に開催されたことをお祝い申し上げます。世界を騒がしましたコロナウイルス感染症も2類から5類へとなり、落ち着いてきました。しかしウクライナ侵攻に伴う輸入資材等の高騰により、経済的には厳しい状況となっています。経済産業省としてはこのことに対し色々な対応策を講じています。その施策類を紹介しています。パンフレットをお配りしておりますので、お目を通していただきご利用願います。砕石業に携わる皆様には、安全対策をしっかりとつて、ご活躍することを願っております。」【要旨】

北海道労働局  
労働基準部安全課  
主任産業安全専門官  
納 裕美 様



「総会が盛大に開催されたことにお祝いいたします。労働局としては、労働災害死傷者数削減に取り組んでおります。北海道における土石採石業では他の産業に比べて非常に労働災害が減りました。これは皆様方の努力の成果と慮いたします。令和5年度から9年度の5ヶ年計画では、死亡者数10%削減等を目標としております。今後もご協力よろしくお願いいたします。」【要旨】

北海道経済部  
環境エネルギー課  
産業保安係主査  
梨木 聡 様



「本日、総会がこのように盛大

に、開催されたことにお祝い申し上げます。

また、社会基盤整備に不可欠な資材である砕石の安定供給にご尽力されていることに感謝いたします。採石業を執行していくことは危険を伴うことが多く、安全対策が必要で有り、大変なご苦勞をされていることと申します。現在地球温暖化対策として二酸化炭素の吸収・固定が重要視されており、その一つとして砕石を活用した二酸化炭素の吸収・固定に対しNEDOが予算を付け道庁も応援している事業に（一社）日本砕石協会北海道地方本部が加担していることに心強く感じています。これから北海道のために宜しくお願いいたします。【要旨】

## 北海道国有林採石協会

### 通常総会

午後2時、北海道森林管理局

武田義昭森林整備部長、佐藤淳一

資源活用第一課長をご来賓に迎え

（会員数29社、出席会員17社、委

任状12社）総勢30名のもと盛会に

開催しました。

総会開催前には本年1月27日

にご逝去された前会長で顧問辻庄

嗣氏のご功績を偲び、黙とうがな

されました。

藤野会長は総会開催にあたり、



「昨年より通常の形での総会開

催が今年もできました。本日、ご

参加の皆様方におかれましては、

総会シーズン真ただ中のご出席

ありがとうございます。ご来賓と

して北海道森林管理局から武田義

昭森林整備部長様、佐藤淳一資源

活用第一課長様、ご臨席ありがと

うございます。

本道を取り巻く砕石業界の状況

は公共事業等により概ね順調な需

要を維持しております。国有林内

で事業を展開している我々協会員

達は、森林の持つ公益的機能の発

揮を重視した森林整備を進める国

有林野事業の経営方針に鑑み、他

の模範となるよう、自然環境の保

全に配慮した事業を推進すること

はもとより、採石跡地の確実な整

備・緑化等が求められています。

地域の森林資源供給の任を果たす

林野庁・森林管理局／署のご指導

の下、各種関係団体と緊密に連携

し、採石事業が円滑に実行できる

ように取り組んでまいります。ま

た今年度から新たにSDGs等社会

貢献活動について協会として検討

してまいります。

全国総会において私も参加し、

直接要望を申し上げますが、巨額

の生産設備を必要とする採石事業

には長期的な事業計画が不可欠で

す。

本日は、令和5年度の事業計画

案、予算

案などを

提案いた

しますの

で、限ら

れた時間

でありま

すが熱心



な審議をお願いいたします。」と結ばれ、このあと、議長に岡本敏秀副会長が指名され、議案審議の結果、原案通りすべて承認されました。

※役員改選は次のとおり

### 北海道国有林採石協会

#### 【任期満了役員改選】新役員

会長	藤野 徹弥
副会長	美田 和夫
〃	岡本 敏秀
理事	中村 辰夫
〃	山本 浩平
〃	菅澤 和人
〃	坂上 忠義
〃	辻 庄一郎
〃	藤田 文明
技術担当理事	源田 茂男(員外)
専務理事	牧野 利信(員外)
監事	小岸 芳行
〃	杉本一義

#### 【ご来賓祝辞】

北海道森林管理局  
森林整備部長  
武田 義昭様



北海道国有林採石協会の総会が催され、おめでとうございます。

また、会員の皆様におかれましては、日頃より国有林野事業の運営に対して、多大なるご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、林業・木材産業の目下の課題は、森林の多面的機能を発揮させるための管理を行いながら、資源を循環利用し、林業・木材産業の持続的発展を実現することであり、吸収源対策にもなるとともに、木質バイオマス利用による化石燃料の代替にもつながるものです。

また、建築物の木造化・木材利用は、「マチ」を第二の森林として炭

素のストックを増加させるものであります。

一方で、近年、降雨の様態が変化しており、北海道でも南方のような豪雨が降るケースが発生しています。これらの被害に対し、確実に復旧を進めるとともに、山地災害危険地区などの緊要度の高い地域において治山施設の整備を推進します。

採石事業については、採掘と環境保全のバランスが重要な課題となっている一方、砕石資源は、インフラ整備や建築など生活に欠かせない原材料です。地域の環境に調和した適切な事業実行をお願いいたします。

北海道森林管理局としましては、森林の適切な管理による林業・木材産業の持続的な発展と、これを通じたカーボンニュート

ラルへの貢献を目指し、皆様とともに様々な取組を進めていきたいと考えておりますので、より一層のご支援ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、北海道国有林採石協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げます。お祝いの挨拶とさせていただきます。【要旨】

### 北海道砕石協同組合連合会

#### 通常総会

午後三時、北海道中小企業団体中央会から馬込連携支援部長をご来賓に迎え、一組合欠席のもと、第37期通常総会を開催いたしました。

岡本会長は総会開催にあたり、「本日は、ご来賓として出席いただきました、北海道中小企業団体中央会連携支援部長・馬込毅様をはじめ、会員の皆さまには、全道各地よりご出

席いただき有難うございます。

さて、北海道新幹線の延伸工事やインフラ整備・ビル建設など需要が増えている地域もありますが、他の地域は需要減が続く厳しい状況であります。

出荷単価については、各会員・各地域での取り組みにより段階的に単価アップをしてきているところですが、石油をはじめとする資機材の高騰で、運営コストも増大しており、さらに人材確保も難しい状況が続く、適正単価にはなっていないのが現状です。

砕石の安定した供給は、北海道の社会基盤整備になくはならない基礎資材であることから、現状の厳しい経営環境下で我々砕石業がしっかりと担っていかなくてはなりません。いろいろ難しい課題が山積されておりますが、これまで

の諸先輩方の思いと成果を引き継ぎつつ、連合会として、組合事業の発展を支える活動を今後とも進展させていきたいと考えています。今年度におきましても各組合の活動を支援していくため連合会の役割発揮に努めてまいりたいと考えております。

本日の総会では、向う一年間の事業計画等を提案させて頂きます。熱心な審議をお願いし、総会開催にあたっての挨拶いたします。」と結ばれ、このあと、議長に藤野副会長が指名され、議案審議の結果、原案通りすべて承認されました。



※役員改選は次のとおり

北海道砕石協同組合連合会

【任期満了役員改選】新役員

会長 岡本繁美

副会長 河合道明

理事 藤野徹弥

理事 平沼昌平

理事 青木 伸

理事 美田和夫

理事 高橋秀昭

理事 天方智順

専務理事 牧野利信

監事 室野邦宏

監事 岸本教範

【ご来賓祝辞】

北海道中小企業団体中央会

連携支援部

部長 馬込 毅様



中央会の馬込でございます。本日は北海道砕石協同組合連合会の令和5年度通常総会が盛大に開催されましたことをお祝い申し上げます。

また、皆様方に当たっては当中央会の事業運営に対し、多大のご協力を頂いていますことに御礼申し上げます。私をはじめ中央会では北海道経済が良くなることを願っておりますが、エネルギー価格の高騰など厳しい状況が続いております。このような中、本年はインボイス制度導入が予定されており、中央会といたしましては皆様方を支援できるように考えております。中小企業が発展して行くには、組合活動の活発化が必要です。そのためにも中央会は皆様方をご支援できるようにいろいろ努めておりますのでご利用ください。本日は総会開催おめでとうございます。【要旨】

## 北海道砕石未来研究会

### 通常総会終了

午後一時、岡本繁美北海道地方本部長をご来賓に迎え、13名の出席のもと開催されました。

五十嵐会長挨拶の後、松田副会長を議長に選任し、議案審議の結果、原案通りすべて承認されました。



## (一社) 日本砕石協会

### 令和5年度定時総会終了

令和5年度定時総会は6月8日(木)東京都新宿区京王プラザホールで開会されました。

正会員 521社(出席 49委任状 332)  
賛助会員を含む参加者約三百名、

北海道地方本部からは岡本本部長、宮本副本部長、牧野専務理事、北海道砕石未来研究会の会員

13名が出席いたしました。

## 全国国有林採石協会

### 令和5年度通常総会終了

令和5年度通常総会は6月9日(金)東京都千代田区メトロポリタ

ンエドモンドにおいて参加者26名(含林野庁)で開催されました。

北海道からは藤野会長、牧野専務理事が出席いたしました。

なお、総会前に塚田会長、藤野副会長、中田副会長により林野庁に要望活動を行いました。

※総会後の情報交換会では、ミス日本

の緑の大使 上村さや香さんが参加され花を添えました。



## 令和5年度安全スローガン



## 令和5年度安全標語

☆入選おめでとうございます

一般の部 **佳作**

深呼吸 焦る時こそ慎重に

今日も一日 安全作業

札幌支部

岡本興業(株) 鶴羽令子様

### 「編集後記」

今回は令和5年度通常総会の記事をまとめました。

ご承知のとおり軽油引取税の課税免除措置は令和6年3月31日を期限として廃止される見込となっており、措置延長のための要望行動を北海道地方本部は7月に行います。

また「北海道砕石だより」の発行にあたり、地域の情報などありましたら、是非お寄せ下さい。お待ちしております。

(編集事務局一同)

ホームページを随時更新しております。名簿等で訂正がございましたらご連絡をお願いいたします。

## 採石業務管理者試験前準備講習会募集中

日程 令和5年8月24日(木)~25日(金)

会場 北海道青少年会館 コンパス

札幌市南区真駒内柏丘7丁目8-1

受講料(税込) 会員 9,900円 会員外 13,200円

※講習テキスト、書籍、問題集等幹旋中

※定員 20名

詳細は各支部又は道本部 ☎011-241-4579 (鈴木)

URL : <http://saiseki-hokkaihon.c.ooco.jp/>

公開中

※宿泊者会員助成あり 申込締切7月14日(金)

(試験実施日) 令和5年10月13日(金)各総合振興局等